



ニュース

ニュース

第44号

2012年11月25日発行
 トップス広島 事務局
 〒733-0036
 広島市西区観音新町4-10-2
 広島西飛行場ターミナルビル1F
 TEL ; 082-233-3233 FAX ; 082-233-3251
 URL ; www.tops-h.net/

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島 ソフトテニスクラブ
- ・ JTサンダーズ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ 湧永製菓
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ 広島メイプルレッズ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 広島東洋カープ

サンフレッチェ広島 悲願のJ1リーグ初優勝！



11月24日J1第33節セレッソ大阪戦では、リーグ、クラブともに20周年の節目の年に悲願の初優勝を成し遂げた。この日は、あいにくの雨だったが、サンフレッチェの優勝を信じる3万人を超えるサポーターがビッグアーチに集まった。試合は序盤から広島優勢で進んだ。前半17分に徹底的にマークされていたMF高萩洋次郎が先制点を決めると、勢いに乗った広島は、前半20分MF青山敏弘が追加点を決めた。前半40分セレッソ大阪、MF山口蛍がゴール前で広島の選手を倒し、レッドカードにより退場。これによりPKを獲得した広島は、FW佐藤寿人が冷静に決め3-0と大きく点差を広げ前半を終えた。後半立ち上がり5分、MF石川大徳が4点目を決め、試合を決定的なものとした。石川はこのゴールがJリーグ初ゴールとなった。その後、大阪の反撃を1点に抑え、4-1で大阪を下した。広島と首位争いをしていた仙台がホームで新潟に敗れたことにより広島の優勝が決定し、ビッグアーチは歓喜に包まれた。試合前にはビッグアーチ周辺に虹がかかっていて、この虹が勝利を誘い込んだのでは・・・。10年間サンフレッチェを応援している学生は、「満員のビッグアーチで優勝したい！」という長年の夢を叶えることができた。私がサンフレッチェを応援してきて10年間、辛かったこと悔しかったことの方が多かったが、サンフレッチェを信じ、応援し続けてきて良かったと心の底から思えた瞬間でした！やっと掴んだタイトル、本当に本当に嬉しいです」と答えてくれた。みんなで掴んだこの優勝は涙なしでは終われない1日だった。なお、この結果、サンフレッチェ広島は12月6日から開催されるトヨタ・クラブワールドカップに開催国代表として出場することが決まった。



ビッグアーチに駆けつけたファンと選手との写真。



サンフレッチェ広島を支えた寿人選手と森崎兄弟と森保監督

三冠に向けて好発進！



11月23日から第73回全日本女子ホッケー選手権大会の予選が奈良県親里ホッケー場で行なわれた。CCWレッドスパークスは大会初優勝を目標に掲げて予選を迎えた。初戦の東海学院大戦を4-0で勝利し順調なスタートを切ると、翌日のグラクソ・スミスクライン戦も前半の猛攻もあり、6-2で勝利した。連勝で迎えた予選最終日は、天理大学を昨日までの勢いそのままに4-1で勝利し、予選全勝で12月1日の準決勝進出を果たしたCCWレッドスパークスは今シーズン三冠の可能性が出てきた。三冠を目指し頑張りたい。



村上、中本ペア惜しくも準優勝！

10月26日～28日に鹿児島市営東開庭球場で第67回天皇賜杯・皇后賜杯日本選手権が行われた。女子は佐々木・大庭組、中野・小林組がベスト32入り、水間・榎本組は優勝した東芝ペアに惜しくも敗退し、ベスト16入りという結果を残した。男子は村上・中本組は決勝で惜しくも敗退したが、2回目の準優勝という好成績を残した。

また、11月3日に福山市竹ヶ端運動公園庭球場で第50回井ノ口杯全国ソフトテニス大会が行われた。女子は小林・中野組がベスト16、水間・榎本組、三好・大庭組がベスト8、佐々木・伊東組が3位という結果であった。男子は岩崎組が3位、館越・原組が2位、そして村上・中本組が優勝し1位から3位までを独占した。男子決勝では同士討ちとなり、村上・中本組が初優勝するという見ごたえのある決勝戦となった。12月には広島グリーンアリーナでソフトテニス日本リーグが開催される。今回初優勝を飾った村上選手、中本選手に注目したい。

JT泥沼6連敗



11月3日に「V・プレミアリーグ」が開幕した。絶対に落とたくなかった堺ブレイザーズとの開幕戦、JTサンダーズは最後まで不完全燃焼のまま、1-3であえなく敗れた。「最後まで、自分たちのバレーボールを展開することができなかった」と試合後、八子大輔選手は厳しい表情で振り返った。17日、18日は福山市緑町公園屋内競技場でリーグ戦を行った。17日は東レアローズ、18日にはサントリーサンパローズとそれぞれ対戦した。開幕4連敗で向かえたホームでの試合、連敗を止めたJTサンダーズは地元の声援を見方に付けるも、2試合とも敗れ、なんと開幕6連敗となった。一体、JTサンダーズに何が起きているのか。開幕6連敗という不名誉な成績を残して、選手たちはどう思っているのか。いい形は出ていないと思うが、思うようにはいかない。では、何が足りないのか。タフさもそうだが、やはり得点だろう。相手突き放す得点が中々取れず、そのまま逆転される試合が目立っている。今季のチームのテーマである「ブレイクアウト」はいつになれば発揮するのか。発揮するにはチーム一丸にならないといけないだろう。今こそ、JTサンダーズの底力を見せ、何とか連敗を止めて欲しい。次の試合では笑顔で試合を終るようにファンは願っている。



1部復活への道輝き始める

11月23日～25日に東京都町田市にて行われたバドミントン日本リーグ2部町田大会で広島ガスバドミントン部は、23日に行われた第1試合でパナソニック鳥取に2-1で敗れてしまうも、続く第2試合JR北海道戦では、ダブルスの小池・桜井ペアがストレート勝ちで勢いをつくり見事3-0で勝利した。24日に行われた試合では第1・2試合、トヨタ自動車・JR北國銀行に対し、前日の勢いに乗ったまま3-0で連続ストレート勝ちをし、続く第3試合は2-1でJR日立化成に勝利した。ここまで通算4勝1敗という好成績で迎える最終日の第1試合では、ACT SAIKYOUに1-2で惜しくも敗れるも、第2試合の三菱電機に2-1で勝利を収めた。今大会では4チームが5勝2敗という混戦の中、広島ガスバドミントン部は見事に優勝を収めた。この勢いで広島ガスバドミントン部の念願である1部復活を成し遂げて欲しい。

熱戦が続く日本リーグ



湧永の勝敗はいかに！

日本ハンドボールリーグ第8週の試合が10月27日に行なわれ、湧永は佐賀県神埼中央公園体育館でトヨタ紡織九州と対戦し、38-28で快勝した。続く11月3日に行なわれた第9週の大同特殊鋼戦も29-27で接戦をものにし、連勝を3に伸ばした。そして、今シーズン無敗で迎えた首位の大崎電気戦、樋口が7mスローを決めるなど13-13で前半を折り返した。後半は退場により1人少なくなった大崎電気からリードを奪うがその後3連続失点し逆転を許し、惜しくも敗れた。翌週の豊田合成戦では、後半追い上げ逆転したものの逃げ切れず引き分けた。前半戦最後の11月24日に行われた北陸電力戦は、最初から湧永のリードで進んでいき、攻守ともに冴え北陸電力を圧倒し、快勝した。8勝1分け3敗と3位につけている。

メイプル逆転勝利！



10月27日に日本リーグ第8週が行われ、メイプルは敵地で三重バイオレットアイリスに32-17と逆転勝利し、リーグ前半を勝利で終わることができた。地元バイオレットアイリスのスローオフでスタートした直後、速攻などで立て続けに6失点を喫し、立ち上がりは悪かったが、その後相手が急速にペースダウン。その隙を突いて、宋の3本の7mスロー、高山のポストシュートなどで追い上げ、20分に新城の速攻が決まり、ついに9-8と逆転に成功した。バイオレットも反撃を試みるが、結局14-10とメイプルの4点リードで前半を終了した。後半、両チーム互角の立ち上がりをみせるも、バイオレットのパスミス、シュートミス突きメイプルが6連続得点。一気に大差をつけ勝利を収めた。この試合でメイプルレッズ主将、新城明奈選手が通算200得点を達成した。



中電16度目の優勝！

11月18日に広島県世羅町で「第51回中国実業団対抗駅伝競争大会」が開催され、中国電力は2位と2分以上も差を付け、4時間09分16秒で15年連続16度目の優勝を果たした。また6区を走った米澤類選手が今大会のMVPとなった。この結果により、来年の元日に群馬県前橋市で開催されるニューイヤー駅伝の参加が決定することになった。選手丸となり掴み取った切符、みんなでご支援しよう。



優勝のゴールテープを切る7区の清谷選手

球団創設初 野手のみ指名



プロ野球ドラフト会議が10月25日に開かれ、広島は1位で競合の末、高校通算43本の龍谷大平安高校・高橋大樹外野手の交渉権を獲得。同校の大先輩には衣笠祥雄氏がいる。プロでの目標は「最多安打・首位打者を獲りたい。息の長い選手になりたい」と抱負を語った。2位指名された鈴木誠也内野手は「評価していたらいいという感じが伝わった」とプロでの目標を「3割・30本・30盗塁」と掲げ野村監督も「将来は堂林と競って中軸を担ってほしい」と語った。3位指名された上本崇司内野手は地元広島高校出身。阪神の上本博紀内野手は実兄にあたる。上本選手は守備に自信を持っており「ヒット性の打球をアウトにするのが持ち味。兄よりも先にゴールデングラブ賞を獲りたい」と語った。松田オーナーは2度目に競合した増田投手を外した時点で「中途半端な投手は獲らない」と将来性のある高校生野手や即戦力の大学・社会人の指名シフトし90点のドラフトだ



*** ロゴマークの意味 *** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

